皆さんおめでとう

元気に西独の仲間たちから

新年おめでとう!!と異国で新春を迎える西独の仲間から、年賀状が届きました。若い彼らは張ちきれるほどの元気です。第一陣の先発たちはもう初めての正月ではありませんが、第二陣の諸君は異郷での初の迎春です。以下諸君たちの元気よい年賀を披露しましょう。

謹賀新年

謹んで新年のお祝い申上げます　組合長初め三池の皆様方の御清福と三鉱労組の発展を遥かにお祈り致します。私も与えられた最後の一年を有意義に生活したい所存です。今後共何卒御指導御鞭撻下さいますようお願い申上げます。

元旦　三川　川崎　博美

謹賀新年

組合長以下組合員の御幸福を御祈り致します

一九五九年元旦　宮浦　平川　留蔵

賀正

元旦　三川　片白　勲

明けましておめでとう御座居ます

元旦　川崎　勝

明けまして御目出度う御座居ます　組合長初め皆様の御幸福をお祈り致します

一九五九年元旦　四山　中村　金吾

賀春

謹しんで新春のお祝い申上げます　組合長初め三池の皆様の御多幸を祈り併せて三鉱労組の発展をお祈り申し上げます

一九五九年元旦　宮浦　井上　徳光

謹賀新年

一九五九年元旦　四山　浅山

春賀

新春をめで併せて組合長初め三池の皆様方の御多幸をお祈り申上げます

元旦　三川　林　茂樹

元日や晴れて雀のものがたり

古心の一句を借りて新春のお祝び申上げます　私も最後の年を迎えるに当り、いろいろと心に誓ったり反省したりして居りますが、どうなることやら。三池の皆様の御多幸と三鉱労組の発展を御祈りして新春の御挨拶に変えさせていただきます

宮浦　本田　豊明

明けましておめでとうございます

組合長初め組合役員の皆さん及び三池の組合員の皆様方の御健康と御発展を遥い異国の空よりお祈り致します

宮浦　荷働　順士

謹賀新年

三鉱労組の良き、一九五九年でありますようにお祈り致します

三川　村谷　泰一

謹賀新年

組合長を初め組合役員の皆様及び三池の組合員の皆様の御清福をドイツより御祈り申上げます

一九五九年一月一日　三川　池辺　定光

明けましておめでとうございます

元気にて屠蘇代りにビールで新年を迎えました　旧年中大過なく過ごせたのも組合長初め組合員皆様の公私に亘る御協力の賜と深く感謝致しております

元旦　宮浦　津留崎末男

ビールに明け　ジャガイモに暮れる国より　新春のおよろこびを申し上げます

昭和三十四年一月一日　四山　植田　信雄

年末カンパ13万円集る

六ヵ所に配分おわる

新しい闘いの年を迎えたが、昨年も苦しい闘いの連続でした。この苦しいなかから、私たちはご承知のように〃年末助け合い運動〃をおしすすめましたが、相つぐカンパにもかかわらず各地域からは、ぞくぞくと温いカンパがよせられ金額にして総計十三万二千五百三十六円が集りました。

執行部では早速このカンパの配分を協議しましたが、つぎの各配分先をきめ、配分を終了しました。配分先および金額はつぎの通りです。

◎組合費免除者（三五・〇〇〇円）＝三十五名で一人当り見舞金一千円　◎小浜児童相談所（一・七四〇円）甘木学園（三・七五〇円）荒尾養老院（四・〇九五円）大牟田養老院（九・一〇〇円）荒尾シオン園（四・九九一円）大地評（六八・八六〇円）荒地評（五・〇〇〇円）

なお、松川事件、菅生事件、三鷹事件、メーデー事件、大牟田市教組、高田町教組などの配分については、大地評一本で考慮することになっています。荒尾関係についても同じです。

賃金展開妥結す

修正給など全部諒解へ

昨年の新賃金決定によって賃金展開がまたれていたが、三池の機械化交渉により、賃金展開も機械化交渉妥結後にあわせて行われることになっていた。交渉妥結後、組合ではただちに賃金展開に取組んだが、修正給など数項目が対立し交渉は難航していたが、年明けた一月六日ついに妥結をみるにいたった。

昨年十二月六日、八日の両日にわたっておこなわれ、修正給など五項目について対立し決裂状態となっていた賃金展開は、問題解決をいそがれていたが、期末手当闘争の部分ストをめぐるロックアウトとの対決による、重大段階に突入したため、交渉は一時中断されてついに年を越した。

あけて一月六日、組合はいままでの交渉経過と、今後の解決方針を検討し、精力的な交渉をおこなった。会社側はその交渉にあたって、従来より前進した回答をしめし、問題解決へのきざしがみえたので、小委員会をひらいて最後的交渉をおこなった結果、次のような結論をみるにいたった。

1、港務支部、船積夫については賃金支払いの一部変更をする。（固定給を六〇円—七〇円の範囲として、具体的に支部交渉におとす）

2、修正給については

①請負給作業者から九円五十銭を固定給作業者修正給分としてまわす。

②B一部〇作業職種については　その格差を十五円を目安としてきめる。

3、臨時入坑手当については、入坑時間が三時間以上におよんだとき、坑内夫の行先賃金と持前賃金の差額を支給する。

4、病院研究室勤務手当については、一方当り研究室男子八〇円女子五〇円検査室五〇円を支給する。

5、散宿手当については、作業実態を検討した上、今後支給条件の改正をおこなう。

団結旗に誇り

香典返しで作製

勤評闘争にてい身して不幸病のためにたおれた故荒尾市教育委員長藤末克巳氏の死は各方面から惜しまれているが、昨年暮遺族から楓町の地域分会、主婦会に香典返しとして金一封がおくられた。これをうけた分会、主婦会では故人の功績と意思をたたえる意味のものを記念にしたいと検討中であったが、「団結」を象徴する大型の分会、主婦会旗をつくった。

分会と主婦会では恒例の新年祝賀式を地域広場で開催、団結旗を正面にして、一九五九年こそさらに団結を固めるよう誓いあい、あらためて故人の功績をたたえた。ちなみに奥さんは入替採用で十二月二十九日より三川鉱勤務中であるが「組合員として故人の意思をつぎ、一生懸命頑張ります」といっておられる

【写真は藤末さん親子】（楓町発）

一枚岩の団結を

明治校区連協が呼びかけ

大地評では昨年から校区労働者連絡協議会の結成を目指して、各校区に呼びかけ地域組織強化をいそいでいるが、鉱害問題を契機としていち早く校区連協を結成した明治校区では、しだいに組織も強化されているが、校区の人たちに、新年早々からつぎのように呼びかけている。

あけましておめでとうございます。

昨年十月に校区民の熱意と大地評傘下全組合員の声援の中に、わが明治校区労働者連絡協議会は生まれました。関連した各単産の地域分会結成も大部分が終了している状態です。

結成時日が浅くして未だ申しあげるほどの働きはやっていませんが、新しい一年では明労協結成の直接の動機であった水害補償の解決や、勤評反対、地方選挙に絶体勝利を期するなど闘うべきものが沢山あることを自覚し、武者震いをしている次第です。

このためには各単産のご協力のもと、明治校区の民主勢力を結集して一枚岩の団結をつくりあげねばならぬと確信しています。私ども役員も力の限り頑張りますから、皆さん方も精一杯のご協力を賜わるよう宜しくお願いします。

ちから談義

激しい反撃

去日の毎日新聞近事片々欄で戦争と失業に反対する国民大行進を「せいぜい足にマメをつくるのがオチだろう」となじっていた。それをみて行進に参加した広瀬部員は大フンガイ。〃そんなオメデタイことをいう奴は失業で一家心中するか、戦争でノタレ死するのがオチだ〃と激しい反撃。ガンバレ・ガンバレ

レジスタンス

新春の三日、国民大行進は大牟田を出発した。

三鉱労組から平島法政部長、広瀬教宣部員が参加。ご両人とも登山グツをはき、いかめしい恰好である。組合長が「大丈夫か?」といえば「中央委員会で発表し、委員諸公が笑ったので意地でも歩きぬきますバイ!」と答えた。

当人のハラは「俺をスツタク者とみているかな?」ということへのレジスタンスであろう。

負けおしみ

五日、大行進は馬柄を出発、馬柄以北は大牟田では見られないほどの大雪である。

大地評の浦本事務局長が「足もとに気をつけて……」とみんないわないうちにスツテン・コロリところげた。

彼はテレながら「愛嬌、アイキヨ」と歩きだしたが、念には念をいれ、またころげた。

〃平和運動は七転び八起きの努力がいる〃とは負け惜しみかな?

ヘツピリ腰

国民大行進大牟田路線の一行は六日午前十一時一〇〇キロ有余を歩いて、舞鶴公園に到着した

大会終了後、東公園までデモ行進を行うことになり、大地評が先頭にたって〃ワツショ・ワツショ〃のかけ声で岩田屋から中洲を通ってのかけ足。

あとにつづく福岡市内の同志たちはつづききれず「大地評の者はちつともくたびれていないが、カンなしではなかろう!」とヘツピリ腰でつづいていた。

職場へ巡回図書

港務支部図書館ひらく

港務支部では念願だった組合図書館が暮の二十六日から開館となり職場の読書家を喜ばせている。すでに開館いらいまだ九日しかならないが貸出しも六百余冊という成績で、すべり出しは好調である。いま図書館には蔵書約千六百冊が利用者をまっている。

なお、なるべく多くの人たちに利用させようと、組合では職場巡回制度も設け、月、水、木、土の四日間は、現場に昼休みや、交替時間を利用して図書館から書籍を持込み利用者の利便をはかっている。

巡回には大体六十冊ほどを持込んでいるが、港務所は現場が広はんな地区にひろがっているので、図書を借るため、わざわざ図書館までくるのには、相当歩かなければならないところもあり、そのためか、この巡回図書は非常に歓迎されている。まだ巡回をはじめたばかりで巡回制度を知らない人もいるが、日を追うにつれて利用者は激増しそうである。ただ、蔵書の関係から新刊書が少いことが残念がられているが、これもしだいに増えるようになれば充実したものとなるだろう。

地域消防団が大活躍

問題残る消火設備

年末から年始にかけて大牟田地方ではひんぱんと火災が発生しているが、去年の暮二十九日午後八時四十五分ごろ、宮原社宅と隣合わせた民家（自転車修理店）から出火、社宅の三十五、三十六棟から五米しか離れていないため、一時は混乱し緊張されたが、地域の消防団（地域分会長が副隊長）はいち早く消火隊を編成して消火につとめた。この間約十分、社宅の板塀がくすぶり始め一時は動揺したが、地域分会長の適格な指示があり、混乱もなく鎮火につとめ、応援にかけつけた市の消防車の働きで、午後九時半鎮火し、大事にいたらなかった。

しかし出火とともにサイレン吹奏にかかったが、手廻しで固定されていないためやっと股にはさんで吹奏するなど至急のときには間に合わないことや、消火栓の位置、夜間照明の問題など、会社が火災用として取付けている設備が非常に不十分であった。また、この日人事の消防責任者が全然現場に顔をみせていなく、名前だけの隊長なら必要ないとの声も高まっている。

ともかく地域消防団の機敏な行動によって延焼の心配もなく、大事にいたらなかったことは幸いなことであった。

翌三十日は休日にもかかわらず地域の人たち三十数名の応援で、跡片付けやポンプの手入れがおこなわれた。

可愛い楽団

繰込場で終日慰問

年の瀬もおしせまった昨年の暮、ここ三川鉱繰込場からは、ときならぬメロデイが流れだし、ヤマの男をおどろかした。

これは新港こども音楽団のよい子たちが、ヤマのおじさんたちを音楽で慰めようという、うれしい慰問の贈りものだったのである。

集った楽団のよい子たちは牛島敏子さん、河森政俊君など男子五人女子九人の可愛い楽団である。楽器はハーモニカ、ドラム、笛、木琴、小太鼓など、繰込場にズラリと勢揃いした一行は「村のカジヤ」「瀬戸のあらし」「ジングルベル」「炭掘る仲間」とつぎつぎに奏でて行き、きき惚れた組合員は嵐のような拍手をおくった。

この日は朝六時から繰込場に陣取り一番方、二番方のおじさんたちを慰問した。

このこども楽団は昨年七月ごろつくられたもので、伯川良一さん（坑内機械）が指導にあたっているものである。（写真は伯川さんの指揮で演奏する〃こども楽団〃）

隊員から千円カンパ

製作支部一行動隊員（鋳物）は年末助け合い運動にと千円を組合にカンパ、執行部を感激させている